

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第 349号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替
事務局

めぐみ厚生センター恵友会
〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584

口座番号： 01770-6-12389

(めぐみ園内)：tel 0952-34-7722



『めぐみ厚生センター』

75周年！

恵友会 事務局



昭和25年に佐賀市の赤松町西堀端の仮住居にて「めぐみ園」が開所し、昭和27年佐賀市中央の小路に移転し障害児施設（定員10名）として認可を受け、社会福祉法人めぐみ厚生センターが誕生しました。その後、昭和30年に多布施に移転し落成式をあげ、昭和42年「富士学園」が、知的障害者の援護施設としてめぐみ園内に併設されました（定員20名）。その1年後に富士学園が現在の富士町に移転しました。怒濤の18年間でしたが、全てを障害を持つ方の「幸せ」について追い求めた、創設者の栗林眞吾・ミサ先生（共に故人）の情熱と覚悟あつての偉業と言っても過言ではないでしょう。

そんなお二人の姿に心動かされ「応援したい。協力したい。」と、初代恵友会会長の小川潜歯科医師（故人）が、めぐみ厚生センターの後援会として恵友会を盛りあげられました。当会も昭和58年に発足し42年目を迎えております。

施設が、まだ地域の資源として認識されていない時代に、めぐみ園は市内に存在する珍しい

施設でした（広大な敷地を要する施設は郊外に建つのが常とされた時代です）。設立当初はミサ先生の回顧録にも書いておられますが様々な苦勞が絶えなかったようです。協力していただいた方も多数おられたが、詐欺に遭い一文無しになり心を痛めた経験もあったとのこと。富士学園移転時には、当時の富士学園園長だった栗林恒俊先生（故人）が富士町の方々と数回にも及ぶ説明会を開催し、苦勞の末に現在地に新舎を立てることが出来たこと等。それでも眞吾先生・ミサ先生は「この子達を守る」という強い信念がありました。孫の眞一さんが「小児脳性麻痺」という先天性の障害をもって生まれ、幼い頃、「僕のお友達の住めるおうちを作ってください。」と何度もご夫妻に訴え、眞一さんの想いがめぐみ園という形で実現しました。



『共に生きる』という理念を掲げ、色々な職員の方や地域の方々の協力や支援を受け、社会福祉法人としての使命を果たしてきました。その思いや覚悟ある意志（遺志）は、これからも次世代にバトンを引き継ぎながら繁榮していくことでしょう。そんな厚生センターを恵友会も後援し続けたいと思っております。前述した小川初代会長から、北村二郎氏（元厚生省育成課長・故人）、嶋原貞雄氏（元三愛石油取締役）が恵友会会長として厚生センターを全面的にサポートされ、現在は副島勉会長以下、同じ志を持った副会長・幹事が協力し合いながら会の運営に携わっています。高齢化の波は恵友会にも影響を及ぼしていますが、「出来る事をできる限り長く」継続したいと思えます。

厚生センター創立5年目にミサ先生が残された詩を二つご紹介いたします。

**「時代の波にのせられて
いばらの道をひたすらに
行きつ戻りつ ようやくに
たどりついたるめぐみ園
子供のためのパラダイス
とうとう夢は実現す」**

**「多布施の堤くずるとも
子等を守りて共に生く」**

多布施川の堤防が崩れても子供達を守る。そして私も生きて子供達を守り抜く。

明治の女性の底力を感じます。



めぐみ厚生センター事業所紹介

事業所名	事業名	
ひまわり	特定相談支援	
めぐみ園	障害者就業・生活支援施設 (生活介護・施設入所支援)	
	短期入所 日中一時支援 地域活動支援センター	
	生活介護	
どりいむ	生活介護	
はっぴい	放課後等デイサービス 児童発達支援	
富士学園	障害者就業・生活支援施設 (生活介護・施設入所支援) 短期入所 日中一時支援	
ウイズ富士	生活介護	
	就労継続支援B型	
ピースハイム	オリーブ	共同生活援助
	ピースハイム富士	共同生活援助
	ピースハイム富士II	共同生活援助
	ピースハイム富士III	共同生活援助
	ピースハイム金立	共同生活援助
	ピースハイム金立II	共同生活援助
	ピースハイム川久保	共同生活援助
	ピースハイム多摩	共同生活援助
	ピースハイムめぐみ	共同生活援助

89才〜6才の方が各事業所を利用されており、事業所毎の活動に取り組みられています。

◎会費納入
ありがとうございました

（令和7年10月15日現在）

（敬称略）

栗林裕幸、十時忠秀・やよい
村岡 洋、栗林聖子

◎ご寄付
ありがとうございました

（令和7年10月15日現在）

（敬称略）

栗林裕幸、十時忠秀・やよい
村岡 洋

◇皆様へ◇

会費は今年度から「正会員」と「賛助会員」に分け、会の運営や総会の決議権を持つ「正会員」の方は、2000円・その他の「賛助会員」は1500円です。尚、年度内分は4月1日〜翌年3月31日まで受付しております。

恵友会からのお知らせ

めぐみ厚生センターの活動への協賛として、各施設で開催されている、「交歓の広場」（富士学園・ウイズ富士・PH）・「秋祭り」（めぐみ園）にそれぞれ30,000円の協賛費をお渡ししました。

～秋祭り～ 室内で開催☆



～交歓の広場～

秋晴れの中開催☆



- 恵友会の主な活動
- ◎総会開催（毎年）
 - ◎富士学園・めぐみ園の交歓の広場・秋祭り協賛
 - ◎視察研修（隔年）
 - ◎ふれあいの広場開催
 - ◎会報誌発行（年三回）
 - ◎その他、随時協力

Ⅱ 恵友会についてⅡ
めぐみ厚生センター恵友会（以下、「恵友会」とは、一九八六年（昭和五六年）に設置され、利用者の方々の心のふれあい活動等を目的とする団体です。会員は、知的障害者を正しく理解し、恵友会の目的に賛同してくださる方なら、どなたでもご加入いただけます。利用者福祉の進展と地域福祉の周知・促進を行っています。

Ⅱ ご紹介Ⅱ
《就労継続支援について》
今年度から「ウイズ富士」で、『就労継続支援B型事業所』を立ち上げられています。《就労継続支援》についてご紹介しましょう。
《就労継続支援》
一般就労が困難な方が支援を受けながら働く制度。A型とB型がある。
《就労継続支援A型》（通称/就A）
福祉的支援を受けながら事業所と雇用契約を結び働くこと。
《就労継続支援B型》（通称/就B）
病気や障害により一般就労が困難な方が、生活援助等を受けながら働くこと。

障害を持つ方の社会参画の選択肢が広がっており、その需要も年々増加しています。
《就B》お問い合わせ先
「ウイズ富士」095215110063



編集後記

2025年10月、日本や世界において風向きが変わる事柄が起きています。私達が望むのは生活の安定と武器を盾にしない世界の平和です。子供達の未来に何を残せばいいのでしょうか。
（編集局）

